

2017年 少年連盟の抱負

今年度の少年連盟が取り組む最大の課題は、少年面および股当ての導入への道を切り開くことです。少年拳法はあくまで寸止めですが、しばしば顔に当たったり、けりが下腹部に当たったりしています。これまで、大会や道場でのけいこの際、大きな怪我はないとしても小さな怪我が頻繁に起きていました。防具の導入は、思わず当たってもけがを防ぐ目的です。

少年面の対象は小学4年男女から中学2年男女、中学3年女子まで、股当ては小学校4年以上の男女です。

防具の使用によって少年拳法はさらに安全な武道になります。その結果、多くの少年少女の皆さんにとって、拳法はもっと楽しいものになると信じます。

来年2018年4月前後を目標に実際に防具をつけた試合を始め、来年9月の総合選手権では小学4年男女から中学2年男女、中学3年女子まで少年及び股当て着装の試合になる予定です。

今後、少年連盟は安全・安心な日本拳法を推し進め、お父さんやお母さんたちに安心していただけるよう取り組んでいく所存です。ご理解をお願いいたします。

少年連盟 部長 小泉賢一郎